平成29年4月18日

**教育向け英語認識エンジン開発について**

1. 英語認識について以前数社から引き合いをいただき、日本語文字列認識エンジンの

アルファベット認識を利用した英語認識について、挑戦またその結果について評価をしてきましたが、結果として採用は見送られました。

特に問題点は、ｓ　v　ｏ　p　c等の大文字　小文字の区別が難しい。

この問題については、ガイドラインとなる3本あるいは4本の横線を表示しそれ

に沿って書くというものでした。

　　　またこれらを解決しても、文章の場合スペースの判断が出来ない、英文特有の　Ｉ’

の認識率が悪い等々で課題をクリアーすることが出来ませんでした。

1. これらを解決するためには、英語認識エンジンを利用する必要があります。

ここで問題になるのは、英語認識は単語が辞書に入っているために、誤答

が正答になる確率があります。

1. そこで、単語辞書は利用するものの書いた文字を優先する教育向け英語認識エンジン

を開発しました。

どの程度単語辞書を使うかは、学習による重みづけを行うことに実現します。

1. 今後について

現在アイラボのデータによる学習により完成したエンジンを評価していただき

ご要望によっては、お客様のデータから学習重みづけまでのサービスを考えて

おります。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　アイラボ株式会社

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　堀口　昌伸